

大原ビジネス公務員専門学校津田沼校

大原学園では、入学から卒業までの全期間をもって完結する 1 つのストーリーと考え、教育プログラムを三段階(四期)に分けて構成しております。

★ 第一段階『成功体験期』

初めて専門教育を受ける学生が、卒業までの学習を続けられる自信をつける期間であり、各コースでの短期目標を達成することで「やればできる」という成功体験を、身をもって知り、次のステップに向けてのモチベーションを高める期間となります。

★ 第二段階前期『専門学習期』

成功体験期で学習内容を絞り込んだ学習から、資格難易度の高度化、学習科目の多科目化、より実践に近い技術の習得など、コースの特色に合わせた本格的な学習を通して、高度な知識の定着と技術の習得を目的とする期間となります。

★ 第二段階後期『実践期』

専門学習期までに身につけた高度な知識や技術を実践に結びつける期間であり、最新実務の知識や技術を学び、実践的な学習や演習、校外実習、インターンシップ等を通じて、目標としている就職先で必要となる実践力を身につける期間となります。

★ 第三段階『入社準備期』

専門性の総まとめを行い、即戦力として活躍できるように最終仕上げを行う期間であり、これにより高い実践力に磨き上げて、入社後にスムーズなスタートを切れるよう教育を行う期間となります。

2. 各学科の教育

(1) 定員

昼夜別	課程名	学科名	修業年限	入学定員	総定員
昼間部	商業実務専門課程	経理本科	2 年	40 名	80 名
		医療事務科	2 年	40 名	80 名
		情報処理科	1 年	20 名	20 名
	文化教養専門課程	法律行政科	2 年	80 名	160 名
			1 年	40 名	40 名
計				220 名	380 名

(2) 受入方針（アドミッションポリシー）

次に掲げるアドミッションポリシーに基づき、本学での成長を志す人を求めます。

- ①大原学園が設置する学校・学科で夢や目標を叶えたいという意欲があり、真摯な姿勢で学習に取り組むことが見込める
- ②各学科の履修に必要な基礎学力を身につけている
- ③これまでの学校生活・社会生活の中で、基本的な生活態度やコミュニケーション力を身につけ、協調性を持ち自主的に成長しようという意欲がある

■入学資格

本校の入学資格は、次のとおりとする。

- ①高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- ②通常の課程による 1 2 年の学校教育を修了した者、または通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者
- ③外国において、学校教育における 1 2 年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- ④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ⑤修業年限が 3 年以上の専修学校の高等課程を修了した者

⑥文部科学大臣の指定した者

⑦高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者
(旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む)

⑧その他、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

■入学時期

本校の入学時期は、毎年4月とする。

■入学手続き・許可

本校の入学手続は次のとおりとする。

①本校に入学しようとする者は、本校の定める入学願書、その他の書類に必要事項を記載し、入学選考料を添えて指定期日までに出席しなければならぬ。

②上記①の手続を終了した者に対して書類審査又は必要に応じて試験を行い、入学者を決定する。

③本校に入学を許可された者は、入学許可の日から所定の日までに入学金を添え手続きをとらなければならない。

(3) 進級の認定

進級の認定は、各学科の各学年において定める授業時間を履修し、かつ出席状況等の学習姿勢も考慮の上、進級判定委員会にて審査を行う。

(4) 卒業の認定 (ディプロマポリシー)

次に掲げるディプロマポリシーに基づき、本学での学習を修了した学生に卒業を認定します。

①在学期間を通して、出席状況や学習態度が良好で、真摯に取り組んだことが認められる

②大原学園が教育課程ごとに規定する必要な時間を履修し、専門的な知識やスキルを身につけていると認められる

③マナーやコミュニケーションなど、社会人としての基礎力を身につけており、社会への貢献が期待できる

■時間

① 経理本科 (2 年制) 1,700 時間

② 医療事務科 (2 年制) 1,700 時間

③ 情報処理科 (1 年制) 800 時間

④ 法律行政科 (2 年制) 1,700 時間

⑤ 法律行政科 (1 年制) 800 時間

(5) 称号の授与

以下の学科を修了した者には、次のとおり称号を授与する。

- ① 商業実務専門課程経理本科（２年制）を修了した者には専門士（商業実務専門課程）の称号を授与する。
- ② 文化教養専門課程法律行政科（２年制）を修了した者には専門士（文化教養専門課程）の称号を授与する。
- ③ 商業実務専門課程医療事務科（２年制）を修了した者には専門士（商業実務専門課程）の称号を授与する。

(6) 目標とする国家試験、検定試験等

会計系試験 : 日商簿記検定、全経簿記上級検定、税理士試験、公認会計士試験など
ビジネス系試験 : 日商簿記検定、リテールマーケティング（販売士）、MOS、秘書検定、
ファイナンシャル・プランニング技能検定など

(7) 主たる国家試験、検定試験等の合格実績(2024 年度学園実績)

会計系試験 : 日商簿記検定 1 級 205 名、日商簿記検定 2 級 1,082 名
全経簿記上級検定 78 名
税理士試験官報合格者 9 名、公認会計士試験論文式試験 46 名
ビジネス系試験 : リテールマーケティング(販売士)3 級 214 名
秘書検定 2 級 619 名、I T パスポート 103 名
MOS 3,050 名(のべ)、色彩検定 3 級級 502 名
ファイナンシャル・プランニング技能検定 3 級 336 名、2 級 38 名
医療事務系試験 : 診療情報請求事務能力認定試験（医科） 492 名、
医療請求事務検定 1 級 894 名、2 級 936 名、
医療秘書実務検定 1 級 905 名、2 級 793 名
公務員系試験 : 1 次・筆記試験のべ合格者 19,007 名

【試験区分別】

国家（大卒程度）・地方上級・地方中級等 1,264 名
国家（高卒程度）・地方初級等 17,743 名

【職種別】

国家公務員事務職等 2,547 名
都道府県等職員 1,521 名
市役所・区役所等職員 3,410 名
警察官・消防官・自衛官等 11,529 名

(8) 卒業生の進路（2024 年度卒業生学園実績：2025 年 3 月 31 日現在）

- ① 全国専門課程就職率 99.5%(就職希望者 5,380 名中 5,356 名)
- ② 求人企業数（全国） 12,619 社
- ③ 全国専門課程公務員試験 1 次・筆記試験合格率 98.9%（受験者 4,096 名中 4,054 名）
- ④ 首都圏・東北専門課程公務員試験 1 次・筆記試験合格率 98.7%（受験者 1,908 名中 1,884 名）

《津田沼校実績》

- ① 津田沼校就職率 100%（44 名中 44 名）
- ② 津田沼校公務員 1 次試験・筆記試験合格率 98.6%（71 名中 70 名）
- ③ 津田沼校の主な就職先

〈民間企業〉

ALSOK、小出ロール織工所、JM ホールディングス、西部・プリンスホテルズワールドワイド、セルリアンタワー東急ホテル、トヨタレンタリース新千葉、西尾レントオール、日本企画、日本通運、日本ハウズイング、ノジマ、不二家、ヨドバシカメラ、レッドバロン 等

〈医療機関及び薬局〉

慶應義塾大学病院、日本医科大学、新松戸中央総合病院、慈恵大学、鎌ヶ谷総合病院、船橋整形外科病院、東京歯科大学市川総合病院、千葉徳洲会病院、聖路加国際病院、井上眼科病院グループ、慶應メディカルサポート、IMS グループ本部事務局、タカサ、タムスグループ 等

〈公安及び行政機関〉

内閣府、外務省、国土交通省、会計検査院、関東地方整備局、金融庁、裁判所事務官、千葉地方検察庁、千葉労働局、東京労働局、東京税関、防衛装備庁、千葉県行政事務、千葉県警察事務、千葉県学校事務、東京都行政事務、警視庁事務、東京消防庁消防事務、市川市行政事務、浦安市行政事務、習志野市行政事務、白井市行政事務、江戸川区行政事務、品川区行政事務、台東区行政事務、自衛隊、千葉県警察官、警視庁警察官、市川市消防官、香取広域市町村事務組合消防官、流山市消防官初級 等

3. 教職員

(1) 教職員数

本校に次の教職員を置く。

校長 1 名 副校長 1 名 教員 11 名以上 事務職員 2 名以上 学校医 1 名以上

(2) 教職員の専門性

① 保有資格等：日商簿記 1 級、日商簿記 2 級又は基本情報技術者、診療報酬請求事務（医科）と同等以上の資格取得または販売、営業、経営企画、マーケティング等の実務経験 3 年以上。

② 教員研修：企業等と連携し以下の教員研修を実施して、教員の専門性を維持向上させている。

(ア) 専門知識：簿記・会計知識、マーケティング、診療報酬請求事務、法律・行政知識、教養知識等

(イ) 指導力：講義力研修、指導力研修

4. キャリア教育・実践的職業教育

(1) キャリア教育

大原学園では、学生一人ひとりのキャリアプランに沿った就職の実現をテーマに、就職後に即戦力として活躍するためのキャリア教育を入学時のカリキュラムに取り入れ実践しています。主なものは以下のとおりです。

① 入学時：就職ガイダンス(将来の目標確認)

② 1 年生 4 月～7 月：就職の心構え、自己分析、SPI3-P 性格適性テスト

③ 1 年生 8 月～12 月：自己分析、自己 PR 作成、面接練習、業界研修・企業研究、SPI2 対策テスト

④ 1 年生 1 月～3 月：学内企業セミナー、業界研修・企業研究

⑤ 2 年生 4 月～8 月：学生個人の特性を考慮した就職求人紹介

⑥ 2 年生 9 月～3 月：入社準備教育

(2) 実習・実技等

大原学園では実習、実技に注力し、実践的な教育カリキュラム編成を行なっています。様々な実習実技がありますが特に以下の実習では、カリキュラム編成、実習運営、成績評価について、企業と連携した実践的な講義内容となっています。

授業科目	対象	年次	連携企業
卒業研究・発表	経理本科	2 年次	イオンリテール株式会社 など
マーケティング概論	経理本科	2 年次	イオンリテール株式会社 など
病院実習Ⅰ	医療事務科	1 年次	各種医療機関
病院実習Ⅱ	医療事務科	1 年次	各種医療機関
病院実習Ⅲ	医療事務科	2 年次	各種医療機関
病院実習Ⅳ	医療事務科	2 年次	各種医療機関
職業実務Ⅱ	法律行政課	1 年次	千葉県警察本部
行政研究	法律行政課	2 年次	防衛省自衛隊千葉地方協力本部

(3) 就職支援等

大原学園では学生の就職活動が円滑に進むように、多くの企業と連携して学内イベント等を開催しています。また、学生が不安なく就職活動に臨めるように、担任が準備から実際の活動まで様々なサポートを行います。

企業等と連携した支援	担任による就職支援
スーツセミナー	自己分析面談、自己 PR 作成支援
学内企業セミナー	求人紹介
大原専用説明会・採用試験	志望企業研究支援

5. 様々な教育活動、教育環境

大原学園では資格取得教育のみならず、多彩な学校行事や課外活動を通じて学生のコミュニケーション能力、企画力、実行力等の社会適応能力の育成に注力しています。

(1) 学校行事

- 4月・・・入学式
- 5月～11月・・・ビガー研修（1年生対象）
- 10月・・・スポーツフェスティバル
- 12月・・・海外研修・語学研修
- 2月・・・スキー&スノボツアー
- 3月・・・卒業式、卒業記念パーティー(卒業生対象)

(2) 課外活動

- 地域貢献
 - ゴミ拾い清掃活動、各種ボランティア活動

6. 学生の生活支援

大原学園では学生一人ひとりが充実した学生生活を送れるように様々なサポートを行なっています。

(1) 完全担任制

完全担任制により出席管理、生活指導、進路指導を行っており、個人面談の機会を多く設け学校生活における様々な悩みを担任と共に解消していく環境を整えております。また、定期的なアンケートを実施して充実感、不安感などの把握にも努めています。

(2) 就職教育

学生一人ひとりのキャリアプランに沿った就職の実現をテーマにして担任は学生の特性を引き出すための個人面談を継続的に実施します。その上で、求人紹介は担任が責任を持って行い、就職内定先とのミスマッチを最低限に抑えられるように取り組んでいます。

7. 学生納付金・修学支援

(1) 学生納付金

入学金：200,000 円（入学金は、入学手続き時に1年次前期分学費と合わせて納入して頂きます）（単位：円）

系統・コース	納入 時期 費目	1年次			2年次			総合計
		前期	後期	1年次合計	前期	後期	2年次合計	2年間合計
		入学手続き時	2025年8月31日		2026年2月28日	2026年8月31日		
■ビジネス系 ■医療事務系 ■公務員系	授業料	340,000	340,000	680,000	340,000	340,000	680,000	1,360,000
	教材費	40,000	40,000	80,000	40,000	40,000	80,000	160,000
	維持費	60,000	60,000	120,000	60,000	60,000	120,000	240,000
	実習・演習費	100,000	100,000	200,000	100,000	100,000	200,000	400,000
	計	540,000	540,000	1,080,000	540,000	540,000	1,080,000	2,160,000
■情報IT系	授業料	340,000	340,000	680,000				
	教材費	40,000	40,000	80,000				
	維持費	60,000	60,000	120,000				
	実習・演習費	140,000	140,000	280,000				
	計	580,000	580,000	1,160,000				

※1 上記学費以外に、資格試験の受験料（試験ごとに1,000円～30,000円程度）、電卓検定対策用教材（6,000円程度）、学外研修費（25,000円程度）、健康診断料（就職活動学年3,000円程度、その他学年2,000円程度）就職関連諸費（外部適性検査）（5,000円程度）、卒業諸費（30,000円程度）は、その都度実費をご負担頂きます。

※2 大原学園では、ICT教育を推進しております。デジタル教材の活用、および学習効率の向上、IT活用能力の育成のため、各自タブレット端末のご準備をお願いしております。

(2) 奨学金、授業減免等

① 高等教育の修学支援新制度

高等教育の修学支援新制度（授業料等減免＋給付型奨学金）は、住民税非課税世帯及びこれに準ずる世帯を対象とした国の支援制度です。住民税は、前年所得をもとに算定されますが、予期できない事由により家計が急変し、収入状況が住民税に反映される前に緊急に支援が必要となる場合、急変後の所得の見込みにより要件を満たすことが確認できれば、支援の対象となります。詳しいご紹介についてはHP で公開しております。

<https://www.o-hara.ac.jp/senmon/tuition-support/study-support/>

② 試験による特待生制度

大原独自の特待生試験の結果に応じて入学金・授業料の全額または一部を免除するものです。詳しいご紹介についてはHP で公開しております。

<https://www.o-hara.ac.jp/senmon/tuition-support/shiken/>

③ 資格・クラブ活動による特待生制度

大原入学までに取得した資格や成績を一定のランクに認定し、そのランクに応じて入学金・授業料の全額または一部を免除する制度です。詳しいご紹介についてはHP で公開しております。

<https://www.o-hara.ac.jp/senmon/tuition-support/shikaku/>

④ 留学生を対象とした学費減免制度

高い目的意識を持って大原学園で学ぼうとする留学生を応援する制度です。一定の条件を満たした方は推薦制度を利用して学費の減免が受けられます。詳細は、047-472-7001 までお問い合わせ下さい。

⑤ その他

国の教育ローン、日本学生支援機構の奨学金等の公共機関等の制度のご紹介も行っています。詳細は、03-3237-8711 までお問い合わせ下さい。

8. 学校の財務

HP で公開しております。

<https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/>

9. 学校評価

HP で公開しております。

<https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/>

【学校情報の提供に関するお問い合わせ先】

大原学園では、本学園の情報提供指針に基づいて情報を公開しております。

<問合せ先>

学校法人 大原学園 大原ビジネス公務員専門学校津田沼校

〒275-0026 千葉県習志野市谷津 7 丁目 10 番 5 号 TEL 047-472-7001